

チームの輪を広げよう

backlog 紹介

by nulab

キャンペーン

紹介した人もされた人も

えらべるPay

5,000円分がもらえる!

※紹介された人がスタンダードプラン以上の年払いを新規ご契約されることが条件



キャンペーン期間

2025年12月31日(水)までの新規契約



いろんなPayに換えられる



※掲載ブランドと商品数は付与されるポイント数によって異なります。

PayPayポイントは出金、譲渡不可です。PayPay / PayPayカード公式ストアでも利用可能です。
「QUOカードPay」もしくは「クオ・カード ペイ」およびそれらのロゴは 株式会社クオカードの登録商標です。

STEP1



紹介コードと
Backlog公式サイトの
URLを紹介する人に送る

紹介する人

STEP2



紹介された人が
スタンダードプラン以上の
年払いで新規ご契約(正式登録)
する

紹介された人

STEP3



ご契約翌日以降に届く
メール内に記載されている
エントリーフォームから、
必要事項を入力して応募する

紹介された人

STEP4



紹介した人、された人両方に
契約の翌月、
メールでえらべるPayの
ダウンロードリンクをプレゼント

紹介する人・紹介された人



詳しい応募方法やキャンペーン規約は特設サイトをご覧ください。

<https://backlog.com/ja/20th-anniversary/referral-cp/>





おかげさまでBacklog 20周年

これまでも、これからも、チームとともに。

Backlogは、2005年の誕生以来、プロジェクト・タスク管理ツールとして、皆さまに支えられながら成長してきました。そして2025年、Backlogは20周年という節目を迎えました。

働き方の多様化が進む昨今、さまざまなバックグラウンドを持つメンバーと協働することが当たり前になりつつあります。こうした時代に求められているのは、多様なチームメンバーが連携して力を発揮できる“チームワークの土台”である。私たちはそう考え、あらためてBacklogの価値に向き合いました。

タスクを管理するだけでなく、情報をつなぎ、人をつなぎ、チームの力を引き出す。Backlogは今、「チームワークマネジメント」を支えるツールを目指しています。

ヌーラボは、AIを単なる作業効率化のツールではなく
メンバーの能力を最大限に引き出す「協働するパートナー」と位置づけています

AIとの協働で進化する、次世代のチームワークマネジメントへ



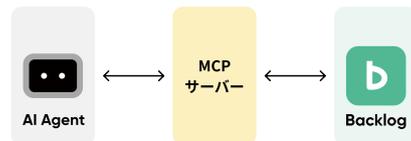
AIアシスタントの開発

Backlogに蓄積された情報をもとにプロジェクトの進行を支援する新機能「Backlog AI アシスタント」の提供に向けた取り組みを進めています。チャット形式での対話を通じて実務をサポートする機能として、2026年初頭にリリースを予定しています。



ABEJA社との共同開発

生成AI領域で先進的な取り組みを行うABEJA社と「タスク管理支援機能」の共同開発を開始。ヌーラボは、チームの前進を支援する新たな仕組みとして、より高度で専門的なソリューションの実現を目指しています。



MCPサーバーの提供

Backlogの機能をAIの力でより便利に、より柔軟に使えるようにするために、BacklogとAIの「架け橋」となるMCPサーバーを公開しました。このMCPサーバーを使えば、AIエージェントとBacklogを直接つなぐことが可能です。

※チームワークマネジメントとは、異なる職種や部門のメンバーで形成されたチームが、助け合いながら、共通の目的に向かって自律的に動けるチームを設計・運営するための概念です。

ユーザーの皆さまからのご要望をもとに 新機能やリニューアルに向けた開発を進めています

プロジェクト設定機能の提供

既存のプロジェクト設定をファイルに書き出し（エクスポート）、新規作成する別のプロジェクトにそのまま取り込む（インポート）ことができます。

プロジェクトテンプレート

プロジェクト作成時にBacklogをどう使えばいいのか？がイメージしやすくなり、自分たちの業務にあったかたちでスムーズに使い始められるようになります。

モバイルアプリUIのアップデート

Web版との一貫した操作感を目指し、より直感的でストレスのない体験を提供できるよう改善を進めています。

ドキュメント機能のアップデート

現在β版として提供中のドキュメント機能は、Wikiからの移行機能の追加を予定しています。API連携もあわせて検討しており、本機能は2026年春に正式リリースを予定しています。

ガントチャート機能のアップデート

表示できる期間がさらに拡張され、より長期にわたるプロジェクト計画の確認が可能になります。中長期のスケジュールも見通せるようになり、戦略的な計画管理を支援します。

※記載内容は開発検討中のものであり、提供時期や内容は変更となる可能性があります。